

LAW & ORDER

シーズン21

「LAW & ORDER シーズン 21」

【別紙】番組詳細資料



# INTRODUCTION

イントロダクション



1990年に米NBCで放送開始した「LAW & ORDER」は“法と秩序”で犯罪に立ち向かう人々にスポットを当てて20シーズンにもわたるロングランとなった傑作シリーズ。前半は犯罪を捜査し容疑者を逮捕する警察、後半は容疑者を起訴する検察を中心に1話完結のエピソードを描く斬新な構成とドキュメントタッチの演出は、当時の視聴者や批評家から驚きを持って迎えられると同時に熱い支持を受け、以後の犯罪捜査ドラマに大きな影響を与えた。

また、同じコンセプトで舞台とキャラクターを変えてシリーズ化していくフランチャイズ方式は「LAW & ORDER」が元祖。中でも「LAW & ORDER: 性犯罪特捜班」は本家を超えるシーズン数を重ねているほか、2021年から放送開始した「LAW & ORDER: 組織犯罪特捜班」も好調な滑り出しを見せている。そんなシリーズの勢いに乗って2010年に終了していた「LAW & ORDER」が12年ぶりに再始動！ アメリカで2022年2月にシーズン21・第1話がオンエアされると、初回放送と当日の総視聴者数が580万人を記録する大反響を呼んだ。そして、同年9月からは早くもシーズン22がスタート。その第1話は「LAW & ORDER: 性犯罪特捜班 シーズン24」、「LAW & ORDER: 組織犯罪特捜班 シーズン3」とのクロスオーバー・エピソードで、3作が3時間にわたって放送されるビッグイベントとして全米が盛り上がった。

このように時代を越えて今なお視聴者から高い人気を誇ることを証明してみせた「LAW & ORDER」。番組のオープニングとフォーマットはそのままに現代社会の犯罪に切り込み、サム・ウォーターストン、アンソニー・アンダーソンといったおなじみのキャストにヒュー・ダンシー、ジェフリー・ドノヴァンといった新キャストを加えて再出発を切った本作は、往年のファンも新規のファンも引きつける変わらない魅力と新たな魅力で、今後も更新を重ねていくこと必至。満を持して復活した不朽の名作に注目だ。

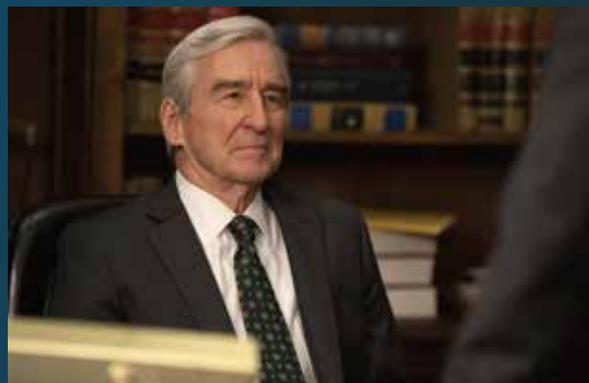
# STORY

## ストーリー



**犯罪捜査ドラマの金字塔、12年ぶりに再始動！  
一つの事件を刑事と検察の2部構成で描くストーリー展開はそのままに、  
新旧キャラクターが復活を盛り上げる！**

ニューヨーク市警 27 分署のバーナード刑事（アンソニー・アンダーソン）が、退職したルーポ刑事に代わってコスグローヴ刑事（ジェフリー・ドノヴァン）とタッグを組んで 2 カ月。40 人もの女性をレイプした罪で 3 年余り服役し、釈放後にテレビで冤罪だと主張したヘンリー・キングが何者かに射殺される事件が発生、バーナード刑事とコスグローヴ刑事が捜査に着手する。多くの女性たちから恨まれていた有名人のキングだけに当初から怨恨による殺人が疑われ、やがて捜査線上にレイプ被害者だったニコール・ベルが浮上。コスグローヴ刑事は確実な物的証拠がない中で強引に自白を取って彼女を逮捕する。だが、プライス検事補（ヒュー・ダンシー）はコスグローヴ刑事のやり方に反発してマッコイ地方検事（サム・ウォーターストン）に直談判。自分の信念に従ってあえてリスクを取る道を選んで裁判に臨むが……。



# HIGHLIGHTS

見どころ



## 時を経ても変わらないオープニングと演出

20年続いた「LAW & ORDER」は警察が容疑者を逮捕するまでと、検察が容疑者を起訴して判決を迎えるまでを2部構成で描く形を変わず維持し、シーズンを重ねても番組開始当初と同じテーマ曲、同じフォーマットのオープニングを使用してきた。

また、場面が切り替わる際におなじみのサウンド・エフェクトと共に日付と場所が明示される臨場感あふれる演出も「LAW & ORDER」のトレードマークとして続いてきた。今回復活したシーズン21もシリーズが守り続けてきたこれらのフォーマットを全て踏襲しているのがうれしくもあり、感嘆させられるところ。これも流行に左右されない番組作りを続け、時を経ても古びない世界観を確立してきた名作シリーズだからこそ成せる業だと言えるだろう。

## 現代の社会問題を取り上げ、リアルさを追求

前シーズンから12年の間にインターネットのコミュニティはますます進化を遂げ、ソーシャルメディア時代において真実と嘘の境界線はますます曖昧に。また、人種やジェンダー平等を訴える運動が世界的ムーブメントとなり人々の意識は確実に変化してきている。

そんな時代の動きを反映したシーズン21にはインターネットが媒介となる犯罪、BLM運動やMeToo運動後のアメリカ社会を鋭く描写する事件などが登場。常に時代を見据えたテーマを取り上げ、問題提起を忘れないシリーズの精神は健在で、黒人刑事と白人刑事のコンビ、男性検事補と女性検事補のコンビのやり取りからそれぞれの意識や価値観の違いも浮かび上がってくるリアリティのある脚本により、どのエピソードもクオリティと熱度の高いストーリーに仕上がっている。

# HIGHLIGHTS

見どころ



## 新旧入り混じった実力派キャストの熱演

12年ぶりにシリーズに戻り前シーズンから続投となったキャストは、80歳を越えてなお現役で活躍するジャック・マッコイ地方検事役のサム・ウォーターストンと、歳を重ねて円熟味が増したケヴィン・バーナード刑事役のアンソニー・アンダーソン。そして、バーナード刑事の新たな相棒となる熱血でタフなフランク・コスグローヴ刑事役に「バーン・ノーティス 元スパイの逆襲」「FARGO/ファーゴ (シーズン2)」のジェフリー・ドノヴァンが扮し、正義感に満ちた多感なノーラン・プライス検事補を「ハンニバル」のヒュー・ダンシーが好演する。その他、27分署の刑事たちをまとめるケイト・ディクソン警部補役に「ゴースト ~天国からのささやき」のカムリン・マンハイム、プライス検事補の同僚であるサマンサ・マルーン検事補役に「グッド・トラブル」のオデリア・ハレヴィと、多彩なキャストが顔を揃える。



## まだまだ終わらない！「LAW & ORDER」シリーズ

「LAW & ORDER」は事件が起こり、警察が容疑者を逮捕して終わるのではなく、検察がその容疑者を起訴し、裁判でどのような判決が下されるかを描くという犯罪捜査ドラマと法廷ドラマを組み合わせた構成で、90年代の米ドラマ界に新風を吹き込み、そのフォーマットを崩すことなく20年にわたるロングランを続けた。製作総指揮のディック・ウルフは「ニューヨーク・ポスト」のニュースの見出しをヒントにエピソードを書き、当時のドラマとしては珍しく実際にニューヨークでロケを敢行。このように現代社会を反映した犯罪捜査の現場を描くことにこだわったリアリズムの精神は、エミー賞で1992～2002年まで11年連続で最優秀作品賞へとノミネートされる評価につながり、90年代の「ホミサイド／殺人捜査課」「NYPDブルー」や2000年代の犯罪捜査ドラマブームへと受け継がれていった。

また、ディック・ウルフは現在では「シカゴ」「FBI」シリーズを成功させていることでも有名だが、舞台を変えてスピンオフを増やしていくフランチャイズ方式をすでに「LAW & ORDER」で確立していた。1999年にスピンオフ第1弾「LAW & ORDER: 性犯罪特捜班」、2001年に第2弾「LAW & ORDER: 犯罪心理捜査班」をスタートさせた彼は、その後も「LAW & ORDER: 陪審評決」「LAW & ORDER: LA」「LAW & ORDER: True Crime（原題）」とシリーズを拡大。その中でもすでにシーズン24まで続いているのが、マリスカ・ハージティが刑事オリビア・ベンソンを演じる「LAW & ORDER: 性犯罪特捜班」で、ベンソンの相棒刑事だったエリオット・ステイブラーが主人公となった2021年開始のスピンオフ「LAW & ORDER: 組織犯罪特捜班」もシーズン3まで順調に更新されており、その世界観は今なお広

がり続けている。こうしたフランチャイズ方式を犯罪捜査ドラマの大ヒット・シリーズ「CSI: 科学捜査班」「NCIS ネイビー犯罪捜査班」「クリミナル・マインド」も採用して成功を収めているのはご存知の通りだ。

なお、「LAW & ORDER」は6人のメインキャラクターを演じるキャストが次々と入れ替わり、20年の間に28人もの実力派俳優がキャスティングされてきたことが、視聴者を飽きさせず長く支持された秘訣でもある。さらに、全シーズンを通して約480人に上る俳優がゲスト出演してきた本作はスター俳優への登竜門とも言われ、ゲスト出演者にはのちに有名になったスターたちの名前が多く見られることもキャスティングの素晴らしさを物語っている。例えば、ジュリア・ロバーツ、フィリップ・シーモア・ホフマン、サミュエル・L・ジャクソンなどの映画スターから、「グレイズ・アナトミー 恋の解剖学」のエレン・ポンピオ、「ナース・ジャッキー」のイーディー・ファルコ、「ゴシップガール」のレイトン・ミスター、「刑事ジョン・ルーサー」のイドリス・エルバ、「Homeland」のクレア・デインズ、「グッド・ワイフ」のジュリアナ・マルグリーズ、「モダン・ファミリー」のタイ・バーレルなど、その後に主演ドラマを大ヒットさせたスターまで枚挙にいとまがない。シーズン21から「LAW & ORDER」のレギュラーとなったジェフリー・ドノヴァンも主演ドラマ「バーン・ノーティス 元スパイの逆襲」をヒットさせる前に本作には2回ゲスト出演していた。

こうした実績のある歴史を経て今、再び新しいチャプターを開いた不朽の名作「LAW & ORDER」。華々しい復活を遂げたこのシリーズがさらに米ドラマ界でどのような歴史を刻んでいくことになるのか、期待して見守っていききたい。

# CAST

## キャスト



### 警察



#### ケヴィン・バーナード

／ Anthony Anderson as Kevin Bernardi (声：かぬか光明)

シーズン18第14話から登場し、ルーポ刑事の相棒となった刑事。そのルーポ刑事も退職し、現在はコスグロヴ刑事とパートナーを組んでいる。ロサンゼルス育ちで警察学校卒業後に息子をもうけるが、息子と息子の母、彼女のフィアンセはカリフォルニア州に住んでおり、息子はフィアンセが自分の父だと思っている。

#### 【アンソニー・アンダーソン】

1970年8月15日米ロサンゼルス生まれ。映画『ロミオ・マスト・ダイ』『トランスフォーマー』などに出演。テレビは、『LAW & ORDER: 性犯罪特捜班』シーズン7に別の刑事役でゲスト出演しており、その後『LAW & ORDER』シーズン18からケヴィン・バーナード役で出演。最近では『ブラッキッシュ』の主演・製作総指揮を務め、エミー賞主演男優賞に7年連続ノミネート。2020年、ハリウッドのウォーク・オブ・フェイムにテレビスターとして星が刻まれた。



#### フランク・コスグロヴ

／ Jeffrey Donovan as Frank Cosgrove (声：咲野俊介)

シーズン21から初登場の刑事。ルーポ刑事の退職後、27分署でバーナード刑事とパートナーを組んでいる。バーナード刑事と人種や性別問題で考えが合わない。捜査中にも無愛想になったりイライラしてしまうことが結構ある。妻と娘がいる。

#### 【ジェフリー・ドノヴァン】

1968年5月11日、米マサチューセッツ州生まれ。奨学金を受け取り、マサチューセッツ大学で演技を学ぶ。さらに、ニューヨーク大学ティッシュ芸術学部で修士号も獲得。テレビ出演は『バーン・ノーティス 元スバイの逆襲』の主演で名を馳せ、プロデューサーだけでなく監督も務めた。『LAW & ORDER』シーズン6、17にそれぞれ異なる役でゲスト出演したことがあるが、レギュラー出演はこれが初めて。空手道松清館流の黒帯保持者。



#### ケイト・ディクソン

／ Camryn Manheim as Kate Dixon (声：佐々木優子)

シーズン21から初登場の、27分署の刑事たちをまとめる警部補。ヴァン・ビューレン警部補の後任。

#### 【カムリン・マンハイム】

1961年3月8日、米ニュージャージー州生まれ。カリフォルニア大学で美術学学士号を、ニューヨーク大学ティッシュ芸術学部で修士号を獲得。多くの舞台に立ち、90年代からはテレビにも出演。『ザ・プラクティス/ホストン弁護士ファイル』、『アリー・myラブ』などにエレノア・フラット役で出演し、『ザ・プラクティス/ホストン弁護士ファイル』ではエミー賞とゴールデン・グローブ賞の助演女優賞を受賞。『LAW & ORDER』シーズン1、3、4にそれぞれ異なる役でゲスト出演したことがあるが、レギュラー出演はこれが初めて。

### 検察



#### ノーラン・プライス

／ Hugh Dancy as Nolan Price (声：玉木雅士)

シーズン21から初登場の検事補。性犯罪特捜班の局長になるために退いたカッター検事補の後任。元は被告側弁護士だったが検事補にすら替えし、マッコイ地方検事にすぐ雇われた。マルーン検事補と共に働く。

#### 【ヒュー・ダンシー】

1975年6月19日英スタフォードシャー州生まれ。オックスフォード大学卒業。イギリスのテレビや舞台で活躍後、映画『ブラックホーク・ダウン』、『スリーピング・ディクショナリー』、『キング・アーサー』などに出演。その後、テレビ『エリザベス1世 ～愛と陰謀の王宮～』や『ハンニバル』での演技が評価され、数々の賞にノミネートされた。映画『ダウントン・アビー/新たな時代へ』への出演が記憶に新しい。



#### サマンサ・マルーン

／ Odelya Halevi as Samantha Maroun (声：國崎未恵)

シーズン21から初登場の検事補。地方検事代理になるためにロサンゼルスへ立ったルビローサ検事補の後任。プライス検事補と共に働く。ジョージア州で妹がレイプ殺人に遭った際、彼女も警察も犯人が分かっていたにも関わらず起訴できなかった過去を持つ。

#### 【オデリア・ハレヴィ】

イスラエル生まれ。祖父母はイエメンからイスラエルに移り住んだ。テレビは、『New Girl〜彼女と三銃士』、『NCIS ネイビー犯罪捜査班』、『MACGYVER/マクガイバー』などへのゲスト出演経歴あり。映画では、12/2公開の最新作『ブラックアダム』に出演。



#### ジャック・マッコイ

／ Sam Waterston as Jack McCoy (声：牛山茂)

シーズン5から検事補として登場し、シーズン18からは地方検事に昇進して検察のトップに。一旦座を退くが再び地方検事として戻ってきた。型破りで容赦がなく、部下と意見が食い違うことも少なくないが、陰になり日向になり部下を支えている。バイク乗りでダーツが得意。少なくとも2回離婚しており、最初の妻との間に娘がいる。父は警官だった。

#### 【サム・ウォーターストン】

1940年11月15日、米マサチューセッツ州生まれ。イェール大学在学中にハリ・ソルボンヌ大学に留学して演技を学ぶ。その後多くの舞台に立ち演技者の地位を確立。テレビは『11 Fly Away (原題)』で主演を務めゴールデン・グローブ賞主演男優賞を受賞。『LAW & ORDER』ではシーズン5からジャック・マッコイ役で出演し、『LAW & ORDER: 性犯罪特捜班』『ホミサイド/殺人捜査課』などでも同役でゲスト出演。主な映画出演作は、『華麗なるギャツビー』『ウディ・アレンの連罪と軽罪』など。『キング・フィールド』ではアカデミー賞主演男優賞候補になった。2010年、ハリウッドのウォーク・オブ・フェイムにテレビスターとして星が刻まれた。

# PRODUCER

プロデューサー



## 製作総指揮ディック・ウルフについて

1946年、ニューヨーク州ニューヨーク市生まれ。20代はコピーライター、CMのプロデューサーとして活躍。TV「NYPDブルー」等の大物プロデューサー、スティーヴン・ボチコのもとで、「ヒル・ストリート・ブルース」の脚本に参加するなど経験を積み、その後プロデューサー兼ライターとして「特捜刑事マイアミ・バイス」の製作に参加。1990年からスタートした「LAW & ORDER」の成功によりTV界での名声を確立した。

以後、スピンオフ・シリーズ「LAW & ORDER: 性犯罪特捜班」、「LAW & ORDER: 犯罪心理捜査班」、「LAW & ORDER: LA」、英国版「LAW & ORDER: UK」や最新作「LAW & ORDER: 組織犯罪特捜班」など、一大フランチャイズを展開している。その他のTV作品には、「シカゴ」シリーズ、「FBI」シリーズなど。映画は、『ノーマンズ・ランド』、『青春の輝き』の脚本のほか、アメリカのロックバンド、

ドアーズの軌跡を追う公式ドキュメンタリー『ドアーズ まぼろしの世界』では製作を務めた。2007年にハリウッドの殿堂「ウォーク・オブ・フェーム」入りを果たし、ハリウッド大通りに星型プレートが埋められた。

---

### 「LAW & ORDER」主な受賞歴

#### 【エミー賞】

1992年～2002年までの11年連続で最優秀作品賞ノミネート  
(米TVドラマ最長記録)

1992年／最優秀音響編集賞受賞

1993年／最優秀ゲスト女優賞、最優秀撮影技術賞の2部門受賞

1997年／最優秀作品賞、最優秀撮影技術賞の2部門受賞

1998年／最優秀撮影技術賞受賞

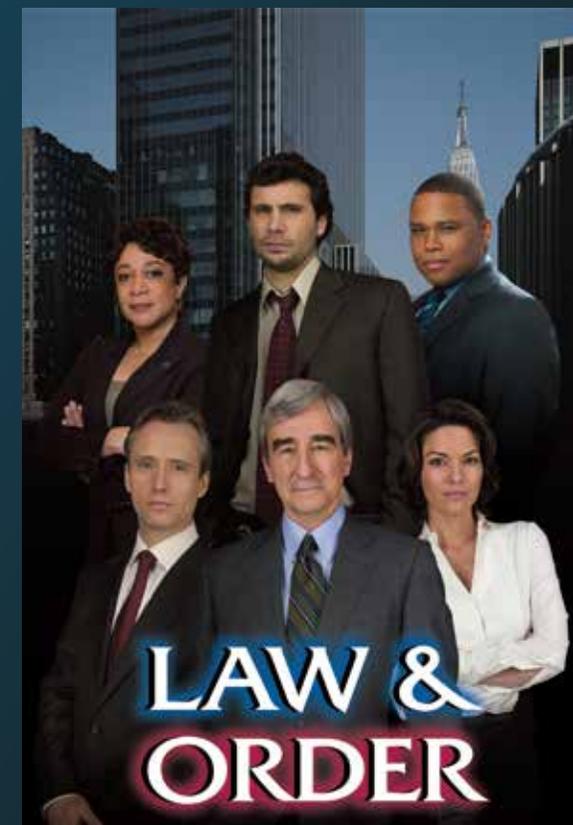
【エドガー・アラン・ポー賞】(ミステリー小説界最高峰の賞といわれる)

1993、1997、1998、1999、2000年でTVエピソード賞受賞

このほかにも多数の賞で受賞、ノミネート。

---

# INFORMATION 放送情報



## 「LAW & ORDER シーズン 21」

12/19(月)22:00 独占日本初放送スタート！

【二カ国語版】毎週月曜 22:00 ほか 【字幕版】毎週月曜 24:00 ほか

## 「LAW & ORDER シーズン 20」

全話一挙放送

<スパドラ！イッキ見>  
12/3(土)12:00 スタート

製作総指揮：ディック・ウルフ、リック・エイド、アーサー・W・フォーニー、ピーター・ジャンコウスキー  
キャスト：ヒュー・ダンシー、カムリン・マンハイム、ジェフリー・ドノヴァン、アンソニー・アンダーソン、オデリア・ハレヴィ、サム・ウォーターストン